



〔例会風景〕

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

※例会および例会場変更のお知らせ

12/25 年次総会とXマスパーティーを行います。100%ご出席下さい。

平成4年

1/1 休会

1/8 会場変更 サンピア多摩

2/5 " 京王プラザホテル多摩

2/19 " 京王プラザホテル多摩

※他クラブの例会変更

調布むらさきRC

12/19(木) → 12月18日(水)に変更
(Xマス会)

1/2(水) 休会

1/9(水) 夜間例会に変更 新年会

※メキシコ国際大会

出席ご希望の方は宿泊予約を行いますので事務局まで連絡して下さい。

※IMの出席者報告

当クラブの出席率は58.97%東分区の中で6位と良くなかった。出席率を上げよう。

☆委員会報告

★親睦委員会

中山順一郎

ニコニコBOX

村田 収(東京自由が丘RC) 本日は認証状伝達式のご案内に貴重な例会の時間をさいて頂き有り難うございました。

土方 弘治(多摩RC) お世話になります。
城倉 正博 もう1991年もあと27日で終わりますね。



中山 恒武 お久しぶりに皆様のお顔を拝見します。大変うれしいです。

田中 實 気分良い天気です。

伊神 稔 いつものように。

北村 幸彦 お蔭様で、ミスノ東京オープン無事終了しました。

横倉 舜三 つたない本を発行しました。

津守 弘範 2回程休みまして。

宮本 誠 東京自由が丘RC村田様ようこそおいで下さいました。CNがんばって下さい。

海野 栄一 師走ですね。

以上合計 26,000円

★出席委員会

橋本 幸夫

〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	34	0	9	79.07%
前回訂正	43	36	2	5	88.37%

〔先週のメイクアップ〕

増川 徹 12/2
(東京多摩RC)

中山 恒武 11/29
(川崎西RC)

〔欠席者届〕

大松 誠二、

萩生田茂夫、

風間 茂穂、新海源四郎、杉田 誠、

高野 範城、戸田 昭寿

〔欠席者〕

遠藤 二郎、横倉 恒雄、今井 正司



*****イニシエーションスピーチ*****

「七転び八起き」

吉尾 警太郎

1943年5月13日青森市寺町33番地に5番目の長男として出生致しました。すなわち姉が4人おるのでありまして、弟が1人います6人姉弟であります。33という数字は好きな数



であります。当ロータリークラブ入会時の番号が33番であります。33はサンザンとも読めるのでありましょうが……。生家は釣道具と洋装附属材料、糸、釦、裏地等の卸を地元業者向けに営んでおりました。

私の名前は苗字がなく名前がふたつ並んでいるような氏名であります。名前の由来は当クラブの年長の方々には容易に御理解いただけるとは思いますが、1943年すなわち昭和18年大戦最中の警戒警報発令下の誕生に依るものであります。珠のようなそれはそれはかわいいう男子の誕生であり、それは現況に於いてもいささか変わるものではありません。

私の最終学歴は、県立工業高校機械科の卒業であります。実業高校を選びましたのは製図用の丁定規へのあこがれと、一刻でも早く親離れをしたい願望に依るものであります。卒業そして就職親離れ願望の私は京浜地区そして大好きだった自動車会社を希望し、求人難の名残りのあった時期、それ迄成績上位の者しか採用してくれなかった日産自動車本社工場に、成績下位の私が校内1番で決定を致しました。車両検査課に配属され、塗装検査担当の後、同課試験班への配転となり、そこでは、テストドライバー名実には運転手であり、空踏み等を含めクラッチ・ブレーキ等のテストを担当しておりました。空踏みが多々ありますので消耗は少なく、日産車の性能評価を会社側は誤判断していたかも知れません。優良であると……。

大会社の気風にあわず、将来展望に明るさを見い出せず3年で退社、帰郷しセメント・生コン・何故か酒類をも扱う建材店に入社、現在の仕事はこの店で覚えたものであります。店主の死が私の入店4年目にあり、吸収合併のうきめのその店を去り、在店時にはすでに設立稼働していた(株)日本えんどれすて文字通りの独立を決意致しました。私のこれまでの人生で只一度手相をみてもらった時の事に従ったのであります。“君も人に使われるのは嫌だろうし、君を使う側はそれ以上に嫌な筈である。君は技術系の仕事をしろ”とそれに従ったのであります。えんどれすはエンドレスベルトの工事をするつもりで設立命名した

ものであり、平仮名であるのは市制地区では日本で初めて平仮名をもちいた、青森県むつ市の誕生と同時期だったからであります。えんどれすの本業を全うすればよかったのであります。お金よりも男の勲章のように思えた名声を得たくて、周囲の反対を押し切ったの事業に大失敗をしてしまいました。親から受継いだ多少の財産、私が三代目である地元では少しは名の通ったのれんを潰してしまい、昭和51年夜逃げ上京してまいりました。上京2年程はたいした気力も湧かなかったのであります。私の状態の最悪の頃に私の最もほった娘が誕生致しました。その子に少しはいい生活を与えたい、その子に恥ずかしくない親になろうと、初めて現場の職人として再出発したのであります。幸い田舎で使っていた職人が子供の頃しか知らなかった成長した長男を伴って上京してくれました。4・5年の間只々現場を消化する事だけ、すぐ上位の職人を追いこす事だけを考え一心に働いたものであります。現場では死がこの身ギリギリのところを通り抜けても行きましました。

たいした能力のない私ではあります。この業界では少しは存在を知られる程になりました。こうしてRCの末席を汚しはしても、ここにいる只々の幸運児であります。

「仕事の面白さ味わった30代」

吉原 光太郎

出生地は、横浜市の東横線日吉でここに生まれてから18年程いましたが、その後都内都立大学に移り、3年前に再び横浜市のみれが丘に移り住んでいます。



大学卒業後三菱銀行に入りましたが、これには特別な理由は思い出せません。おそらくこの時は売手市場で金融機関の就職が早く決まった事、又偶々会った方が他社の人より感じが良かった程度の事だったと思われる。

初めの店は新橋でしたが、4年程した時に会社からアラビア語をやれと言われ、レバノ

ンのペイルートに行きました。ペイルートに着いて3ヵ月程すると内戦が激化した為、エジプトのカイロへ行く事となり、ここに1年半程おりましたが、この間中東の多くの国を歩きました。これは丁度1973年のオイルショック後、世界中の金がオイルダラーと呼ばれる形で中東に集まり、銀行としても今後のビジネスに重要な地域という認識のもとに行かされたわけですが、個人的には色々変わった経験が出来、又様々な問題を考えさせられた事から、自分の基礎作りの為には大変良かったと思っています。

アラビア語について申し上げます、多摩センター駅前に「マグリブ」という建物がありますが、これはアラビア語で「日の沈む所」「西方」を意味し、恐らく東京の西武地域という意味で名付けたと推測していますが、出来れば一度名付け親の方には是非お会いしたいものだと思っています。

中東から戻ると、これに関係した分野に行かされるのかと思っていた処、上野支店を命ぜられ、ここでは下町の気風を勉強させて頂きました。

その後今度は本部の中の外国資金室勤務となりました。これは、1979年のポルカー（米国連銀総裁）ショックにより国際金融が大変動を始めた頃であり、日本の銀行としても、この動きの中で態勢を強め、あわよくば収益を挙げていこうという認識が強まった事に応じて行かされたものです。当初6人位で始まりましたが、為替を始め動くものは何でもやるという事で続けて行った処、ここを出る時は60人位の世帯となり、本部の中でも最も大きい部の一つになっていました。この部門の仕事は自分の30代の殆どを費やした事にもよりましようが、企業勤め人間としての面白さを味わったのもこの頃だと思えます。この部門の仕事は新しい分野であった為、自分たちの他は知る者がなく、自分たちの工夫した

事が、企業全体の計画の中で殆ど通り、又、工夫により企業全体を動かす事が出来た事があります。実際新しい仕事を作り出して新しい課を作った事もありますし、最後は新しい部が作られる事となり、自分がそこへ行く事にもなりました。この為、本部に8年程おりましたが、いつ迄も同じ所に居られないのが銀行員の常で、この後、今から3年程前に丸の内支店の副支店長となり、実に昨年5月に始めて支店長となりこの多摩センターへ参りました。

この多摩ニュータウンは、私共の会社が心臓部と言われる多摩情報センターを設置し、現在建築中ではありますが、それだけに地元企業として地域の発展を願っているものであります。私自身始めて支店長勤務となった場所でもあり、地域発展に一所懸命頑張りたいと思っています。こういう中で新しく形成されたロータリークラブに加わる事が出来、又、皆様にお会い出来た事も大きな喜びでありま自分の仕事、ロータリーの活動を通じて地域発展に少しでも役立ちたいと願っております。



〔例会風景〕



東京多摩グリーンロータリークラブ

会 長：田 中 貴 副委員長：奥田文夫・委員：赤尾恭雄
幹 事：宮 本 誠 高橋二郎・津守弘典・橋口洋三
余額委員長：足 立 清三郎

※例会場 多摩もごうビル7F カフェイン・サントールム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30